

水産基盤整備事業学習会って何したの?～(西北地域県民局の巻 その24)



写真-1 「開会」します！！

問題:これは、なんででしょう??



写真-2 質問してみました。

問題:じゃあ、こっちはなんでしょう??



写真-3 また、質問してみました。

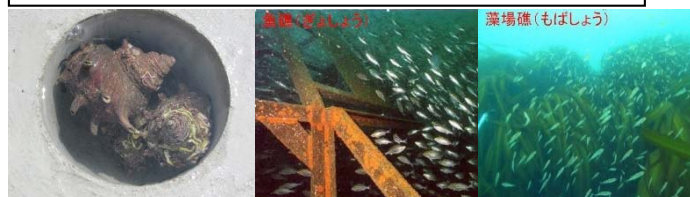


写真-4

【平成27年6月19日 小泊漁港（小泊地区）すくすくこども館にて】

おべ様： 今日、中泊町立小泊小学校5年生の児童 19 名
を対象とした水産基盤整備事業の学習会をやるん
だけど、みんな来ないなあ。

事務局： たいへんだ！連絡ミスかわからないがバスが来ないみたいだ。みんなで往復して輸送するぞ。

おべ様： よし、行くべ！

村人様： 近年になく、車の往来が多いなあ。

おべ様： やっと集まったかな！かい君、おそくなっただ
ど学習会をはじめよう。

今回は、魚礁についてのお話をします。

これは为什么呢？

かい君：・・・。(無言)

おべ様： 正解は、魚礁（ぎょしょう）です。写真-2は、
金属製とコンクリート製です。

魚礁には、たくさんタイプがあります。魚礁は、魚のすみ家になったり、遊び場になったりしています。また、魚のエサになる生き物が集まることでエサ場や産卵場にもなります。

かい君： 魚のマンションかな？

おべ様：　じゃあ、こっち（写真-3）はなんでしょう。

かい君： コンクリートの塊。

おべ様： こちらは、藻場礁（もばしょう）と呼んでいます。海の中でも比較的浅い場所（5m～10m位）の砂地に置くことで、コンブやホンダワラといった海藻が根をつけてくれます。

そこが魚の産卵場やエサ場、隠れ家となります。

かい君： コンクリート表面の穴は、何のためについているの？

おべ様： よくぞ、聞いてくれた！

みんなのお父さんかもしれない漁師さんから、
「サザエをたくさんとれるようにして欲しい！」
との要望を受けて、穴を作ってみました。

サザエが外敵から身を守れるよう、穴をたくさん作って、そこで大きくなることを願って考えました。



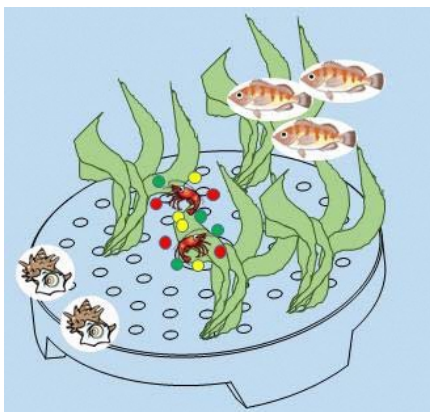
写真-5 お兄さんの話聞いて！



写真-6 小泊の魚とふれあえたかな？



写真-7 今日は、ありがとうございました！



かい君： 魚礁はどうやってできるの？

おべ様： 今回の場合は、鉄で作られた型枠に生コンクリートを流し込んで、固まったら型枠から取り出して出来上がります。

簡単でしょう？

さて、藻場礁の製作現場に移動しましょう。

おべ様： お兄さんの話を聞いてもらえるかな？

お兄さん： さて、小泊漁港で獲れるものは何があるかな？

かい君： イカ、タコ、サザエ、ヒラメ。

お兄さん： 水槽に入っているものが、小泊周辺の海で獲れたものです。

この中のメバルは、“津軽海峡メバル”としてブランド化を図っていて、平成 27 年 7 月からは「中泊メバルの刺身と煮付け膳」として売り出し中だよ。

みんなにも食べてもらえば、お兄さんはうれしいです。何か質問ありますか？

かい君： さわってもいいですか？

お兄さん： 勇気のある人はさわってもいいよ。

おべ様： このブロックが、サザエを増やすこともできる藻場礁だよ。今年設置を予定しているよ。記念にメッセージを書いてみないかな？

かい君： 書いてもいいの！

おべ様： いいよ！

おべ様： 今日は、これで学習会を終わりますが、魚礁や藻場礁について理解してもらえたかな？

かい君： 勉強になったよ。

おべ様、お兄さん、今日は私たちのため、ありがとうございました。

また、来年もよろしくね！

おべ様： 今日勉強してくれたみんなが、こういった環境公共の取組に共感してくれたら、とてもうれしいな。

おうちに帰ったら、お父さんやお母さんたちに今日学んだことを話して、どういう目的で事業が行われているのか広めてもらえたら、さらにうれしいです。

【問題の答え】魚礁（写真-2）、藻場礁（写真-3）